

SCHOOL GUIDE 2014

桐蔭学園 男子部

Toin  
Gakuen



Message from the Principal

## 「育て、伸ばし、鍛える」 世界に貢献する人材の育成

桐蔭学園は、1964年、東京オリンピックの年に、公教育の枠内ではできないことを実践する、私立ならではの教育を目指して創立されました。その教育理念は、「能力とは努力の成果」であり、どんな子どもでも努力すれば必ず伸びるという前提のもと、「育て、伸ばし、鍛える」教育を、知育・体育・徳育のあらゆる場面で行うところにあります。

この教育理念の知育の面での実践方法として設定したのが、近年においては一般的となった「能力別教育」と「到達度教育」のいち早い採用でした。「能力別教育」は、その生徒のそのときどきの学力に見合った授業を行い、「下位を育て、中位を伸ばし、上位を鍛える」きめ細かい、個人対応の授業を可能にしています。「到達度教育」は、属するレッスンの学力相応の理解が得られるまで繰り返し指導する方式で、「能力別教育」と表裏一体のシステムとなっています。

体育については、ウインターキャンプ、学園体育祭、学年別体育行事の開催など、基礎体力の向上をはかるとともに、体力・気力・協調性等の涵養に資するよう積極的に指導しています。

また、徳育は、「知育、体育を基礎にして、目指すのは徳育」との位置づけのもと、学校生活にとどまらない社会生活全般の規範の理解・実践を目標に、保護者や地域の理解、協力を得ながら取り組んでいます。



将来、いかなる分野に進んでも、ノーブレス・オブリージュを自覚した社会の指導者としての役割を果たし、社会・国家・人類の福祉に貢献できる人材の育成を目指しています。

桐蔭学園 中学校・高等学校・中等教育学校

校長 野坂 康夫

# Frontier

感動・発見・新しい自分との出会い

## Contents

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 校長挨拶        | 11 部活動         |
| 3 桐蔭学園とは      | 13 芸術・文化に触れる   |
| 5 桐蔭学園の教育体制   | 14 社会への眼       |
| 7 桐蔭学園の中高一貫教育 | 15 イベントカレンダー   |
| ●中等教育学校       | 17 在校生の声・時間割の例 |
| ●中学校 高等学校     | 19 卒業生からのメッセージ |
| 9 高校からの指導     | 21 学園マップ&施設紹介  |

# 桐蔭学園とは

自ら羽ばたく力を育てる、人間教育の場



## [桐蔭学園 学園歌]

作詞：加藤 楸郎 作曲：荒川 よう

桐蔭学園の学園歌は、昭和を代表する俳人の一人、加藤楸郎氏(1905～1993年)によって作詞されました。春夏秋冬を織り込んだ俳句を基調としたもので、格調高い学園歌です。

一 ぼのぼのと 萌え出でし草 のぞみあり  
 深くゆたかに たたへたる  
 もろくさの根の いとなみの  
 いまあらはれし しるしなる

二 いかづちや くろがねの森 ちからあり  
 枝をかはして きそひあふ  
 おおの木の 恋ひやまぬ  
 むきさまたぐる ものはなし

三 阿夫利嶺を 雁わたる見ゆ 未来あり  
 もとめもとめて あふれくる  
 もろもろの胸 いつしらず  
 おのづとむかふ ところあり

四 大空の 雪後の青さ まことあり  
 さむきさびしき はてしなき  
 世の荒き道 貫きて  
 この冴ゆるもの 身をひたせ

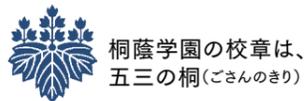
### [建学の精神]

1. 社会連帯を基調とした、義務を実行する自由人たれ。
2. 学問に徹し、求学の精神の持ち主たれ。
3. 道義の精神を高揚し、誇り高き人格者たれ。
4. 国を愛し、民族を愛する国民たれ。

### [校訓]

1. すべてのことに「まこと」をつくそう。
2. 最後までやり抜く「強い意志」を養おう。

### [桐に秘めた力と気品]



初代理事長の母校、旧制東京高等師範学校・東京教育大学(現・筑波大学)の校章にちなんでいます。桐には、瑞鳥・鳳凰(ほうおう)が宿るとされています。千里万里を天翔(あまかけ)る前に、鳳凰がその力を養うのが桐樹の蔭(かげ)です。それにふさわしく、秘めた力と気品のこもった落ち着いたある図案となっています。緑の高台に陽光を浴びて白亜の校舎が点在し、その間に広がる広大なグラウンドは、まさに桐樹の蔭。学校設立50周年をひかえ、その「力」は年ごとに飛躍しており、鵬(おおとり)のひなは、この桐の蔭から次々と飛び立っています。

### [豊かな緑にかこまれて]



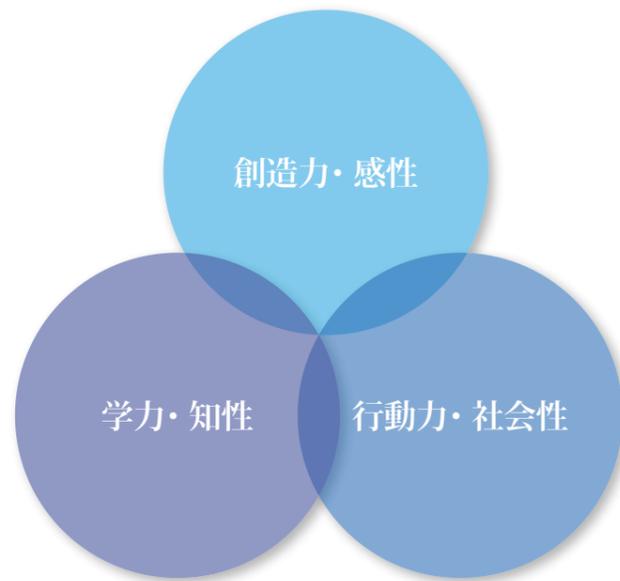
# 桐蔭学園の教育体制

桐蔭学園は、幼稚部から大学院までを擁する、まさに総合学園です。各学校が一つの学園として、一つの理念の下に教育を行っています。そのため、中等教育学校や中学校・高等学校であっても、単に受験のための教育ではなく、大学での学びに結びつくような教育、さらにその先社会に出てからの人間形成までを見越した教育が可能となるのです。

学園の一貫した教育方針は、日本を支え、世界に貢献する使命感あふれる真のエリートの育成です。そのために伸ばす必要のある能力(学力・知性/創造力・感性/行動力・社会性)の育成を授業やさまざまな活動を通して行っています。



## [教育の方針]

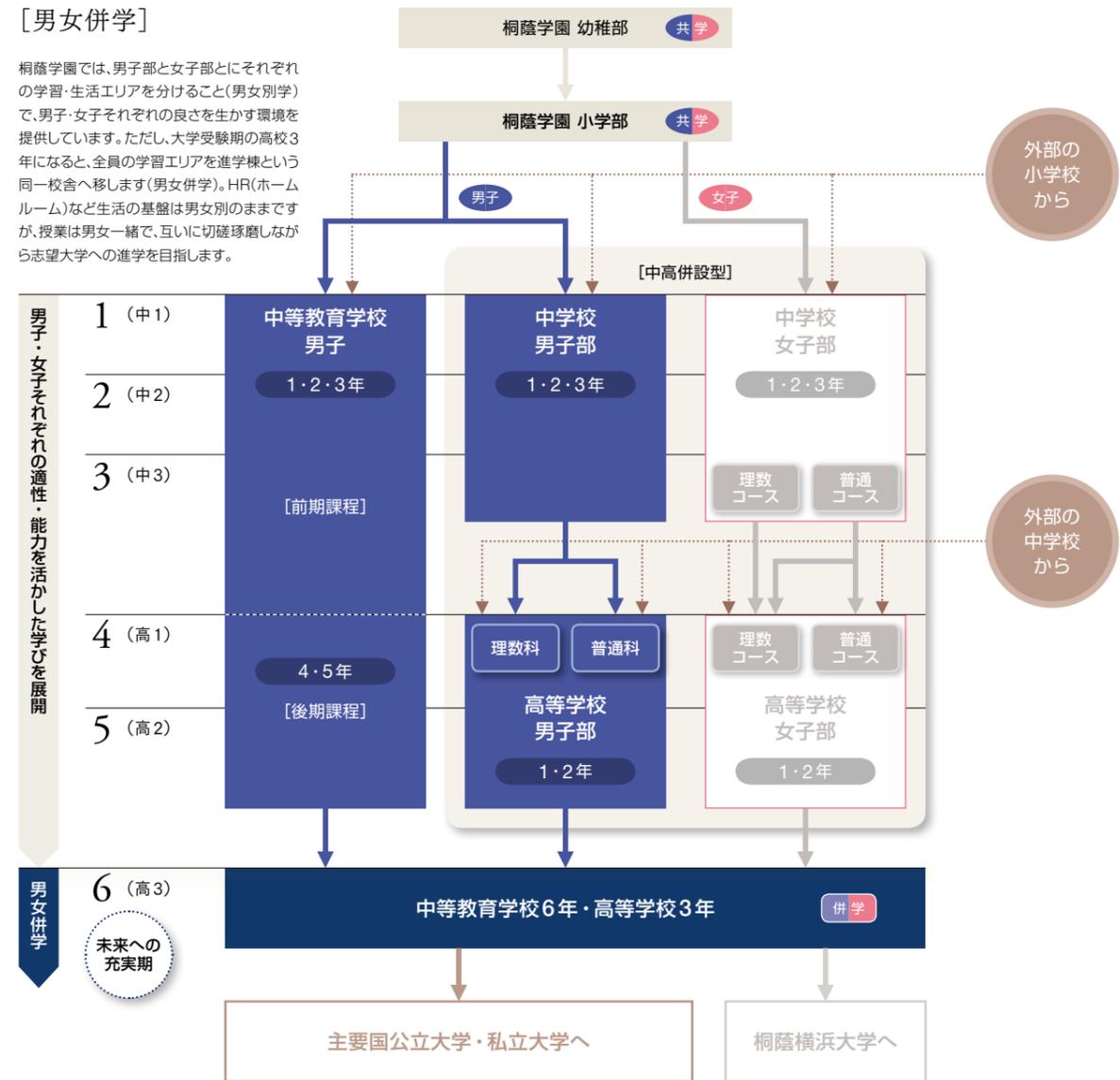


- 学習システム**
  - 6年一貫のカリキュラム
  - 能力別授業
  - 到達度教育
  - 各種の補習・講習
  - 海外研修(ニュージーランド・アメリカ/希望制)
- 学校行事**
  - 学園祭(鷗翔祭)
  - 合唱コンクール(中学・中等教育学校前期)
  - テーブルマナー教室(高校・中等後期)
  - 校外宿泊研修(中学1年・中等1年)
  - スポーツ競技会
  - 学園体育祭
  - ウインターキャンプ
- 校外活動**
  - ボランティア活動:地域清掃・募金活動
- 芸術鑑賞**
  - 鶴川メモリアルホール鑑賞会:音楽・演劇・古典芸能・映画講演会
  - メモリアルアカデミウム 展覧会:絵画・写真 ほか



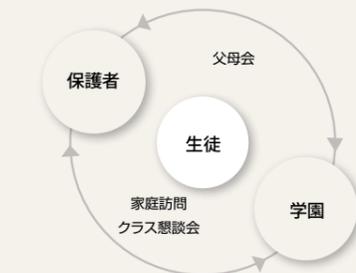
## [男女併学]

桐蔭学園では、男子部と女子部とにそれぞれの学習・生活エリアを分けること(男女別学)で、男子・女子それぞれの良さを生かす環境を提供しています。ただし、大学受験期の高校3年になると、全員の学習エリアを進学棟という同一校舎へ移します(男女併学)。HR(ホームルーム)など生活の基盤は男女別のままですが、授業は男女一緒に、互いに切磋琢磨しながら志望大学への進学を目指します。



## 保護者との繋がりが ご家庭と学校との連携を充実

年2回の「父母会」、および年に1~2回の「クラス懇談会」を行っています。また中・中等1、高1、中等4の各年次には、夏を中心に、担任による「家庭訪問」を実施します。これらは、お子様の教育には、ご家庭と学校との十分な連携が必要との考えに基づいたものです。



## 桐蔭学園の中高一貫教育

## 中等教育学校

6年一貫型 / 男子のみ

## 中等教育学校とは

中等教育学校とは、中高一貫教育を行う新しい学校の形態です。子どもたちから高校受験の負担をなくし、6年間でより幅広い知識を身につけてもらうことが、この制度の意図です。将来、東大などの難関国公立大(文系・理系)や国公立医歯薬系大学に進学したいと考えている成績上位者を対象とした学校です。

## 6年間の体系的学習

6年間の中等教育学校では、これまで学年で分断されていた各教科の学習を継続させ、系統的連続性を保った教え方を目標としています。豊富な経験に基づく体系的指導カリキュラムを組んでいます。

## 使いこなす英語力

英語については、これまでの「英文読解」「英文法」「単語・熟語」というスキームを再構築して、「読む・書く・聞く・話す」を一体化したカリキュラムにしています。これは英語を知識としてではなく、国際化時代に不可欠なコミュニケーション手段としてとらえているからです。ネイティブスピーカーの外国人講師が英語に対する興味と関心を巧みに引き出しながら、実践的な英語を身につけていきます。

## 探究心の涵養・学習意欲の喚起

日本、そして世界をリードしていく人材を育てるには、旺盛な探究心と、より高い目標に向けて学習する意欲を持たせる指導が

必要です。そのために、高い学問的見識を持った大学教授や、社会の第一線で活躍している卒業生によるセミナーなどを開催しています。専門的でありながらも、年齢に応じてかみ砕かれた話から、生徒たちは「ハイレベルの世界」を知ることができます。また、難関大学に進学した卒業生たちとの交流など、将来に向けて確固たる志を築けるような機会づくりにも取り組んでいます。



## 中学校 高等学校

中高併設型 / 男子部

公教育ではできない私立ならではの理想教育を目指し、高等学校を併設した中高一貫校である桐蔭学園中学校・高等学校。学園の特長である能力別授業を最大限に生かし、一人ひとりの学習の理解度に応じてじっくりときめ細かな指導を行っていきます。

## 基礎学力をしっかり身につける

桐蔭学園の特長の一つは、「能力別授業」です。この指導方法は桐蔭学園が日本でいち早く導入した、画期的な方法です。これは学力を固定したものとみなさず、英語・数学を中心に、授業編成、教材、考査のすべてを講座単位で実施するもので、「育てる授業・伸ばす授業・鍛える授業」を展開しています。このシステムの下で努力すれば、学力は確実に伸びていきます。さらに学習

の定着度を見るために、70%以上理解するまで徹底的に指導する「到達度教育」も実践しており、応用力が身につけていくシステムとなっています。

## 生活指導をしっかり行う

社会生活を高いレベルで行う大人となるために、世の一般の風潮とは一線を画した指導方針を堅持していきます。制服の着こなしや髪型はもちろんですが、携帯電話の所持も許可制としています。便利さのメリット以上に、学習や生活への悪影響という点を重視した考えからです。髪の毛を染めたり、お洒落をしたり、格好をつけたり、遊び好きといったお子様は本校には向きません。一方、きちんと落ち着いた生活を本校で送っていく決意のあるお様は、必ず成長します。

## 課外活動にもしっかり取り組める

学校は集団生活の場であり、かつ社会生活の場でもあります。社会生活には当然ルールがあります。部活動にも多くの人間が集まるわけですから、同様にルールがあります。人と人が集団で活動する「場」としての学校教育では、部活動はますます重要になってくると言えるのではないのでしょうか。



## 高校からの指導

桐蔭学園高等学校には、一人ひとりの可能性をさらに伸ばすため、理数科と普通科の2つの課程があります。

### 理数科とは

将来、東大などの難関国立大(文系および理系)・医歯薬系大学に進学したいと考えている成績上位者を対象とした課程です。数学を中心とした、よりスピーディーで、より高度な内容の授業を行います。

### 普通科とは

学園の特長である能力別授業を最大限に生かし、一人ひとりの学習の理解度に応じて、きめ細かな指導を行います。学習内容を確実に身につけることによって、国立大学や私立大学への進学に備えます。



### 内外合流型クラス編成

桐蔭学園の教育の特長の一つは、高校の段階からも生徒を受け入れる「内外合流型」にあります。学園の長年の実績と経験から、内進生に足踏みさせることなく、また、外進生が無理なく授業に追いつけるカリキュラムを組んでいます。

#### ■ 数学・理科は内外別

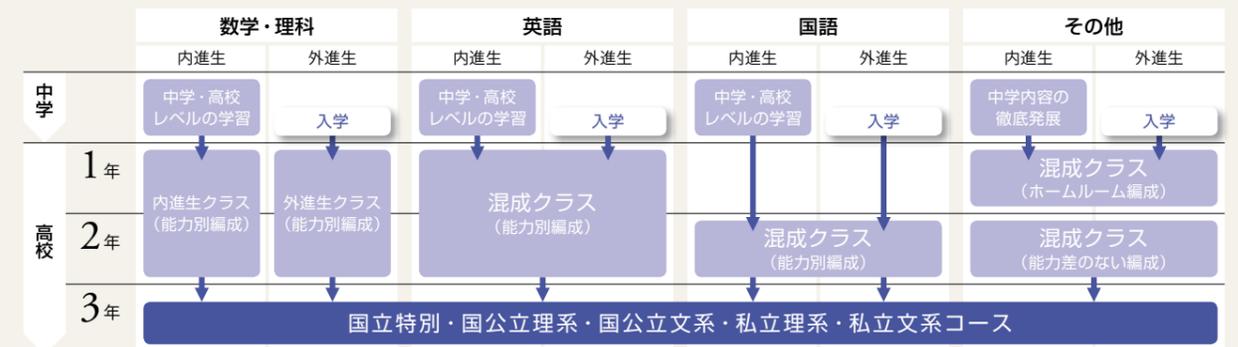
数学と理科では、内進生と外進生それぞれで授業クラス(レッスンルーム=LR)を編成し、さらに外進生には「季節集中授業」を実施することで、2年終了までに内進生の進度に追いつけるカリキュラムを組んでいます。

#### ■ 英語は内外混成

英語に関しては、教科の性格上、内進生と外進生の区別はせずに混成のかたちでLRを組んでいます。このほか、1年の現代国語や地歴・公民、芸術、情報の各授業は、ホームルーム(HR)編成で行われます。3年では大学

入試を想定した国立理系、国立文系、私立理系、私立文系のいずれかのコースに所属して学習していきます。

〈高校での内進生・外進生クラス編成〉



部活動

運動部

部活動は、桐蔭学園の重要な教育活動の一つです。学校という場でしか得られない、一生続く貴重な友情を育む、最も適切な場が部活動です。また、同時に「知・徳・体」の高度にバランスのとれた人格を形成する場でもあります。技術・体力の向上、試合の勝利に向けて目標を設定し、努力する。集中力・気力を養う。協調の精神を学ぶ。こうした過程で、自分のあらたな可能性を広げる。それが、桐蔭学園の部活動です。



ラグビー部



硬式テニス部



剣道部



柔道部



硬式野球部(高校)



サッカー部



バスケットボール部



軟式野球部

水泳部

【その他の部活】バドミントン部/卓球部/ソフトテニス部/少林寺拳法部/山岳部(高校)/ソフトボール部/ハンドボール部/バレーボール部/陸上競技部/スキー部  
アウトドア部/サッカー同好会/空手同好会

文化部

多彩な文化・芸術活動は、生徒の豊かな人間性を育みます。友人たちとともに創造する喜び、自分の内面にあるテーマを表現し相手に伝える達成感。文化部の活動で得たさまざまな知恵と技が、生徒の将来にわたる大切な糧となっていきます。文化部の活動においても、桐蔭学園の「目標を設定し、能力・技術の向上に向かって自分で考え、実行する」という基本的な理念が生きており、活動をより充実させたものになっています。



吹奏楽部



生物部



室内楽同好会



鉄道研究部



グリークラブ



和太鼓部(高校・中等後期)



コンピューター研究部

囲碁・将棋部



数案研究会

美術部

2012年度 主な大会実績

中学・中等教育学校前期

- 硬式テニス部 関東新人大会 団体 出場  
全国大会 出場
- サッカー部 関東大会 3位  
全国大会 出場
- 柔道部 関東大会 個人 50kg級 3位
- 少林寺拳法部 関東大会 個人 2名出場
- 水泳部 全国中学校大会 3種目出場  
JOCジュニアオリンピックカップ春季大会 2種目出場
- 軟式野球部 全日本少年大会 出場
- ラグビー部 関東大会 ブロック3位  
東日本大会 ベスト8

高校・中等教育学校後期

- 剣道部 関東大会 団体 優勝/個人 3位(他1名出場)  
全国高等学校総合体育大会 団体 優勝/個人 3位  
国民体育大会 神奈川県チームで5名出場
- 柔道部 関東大会 団体 ベスト8  
全国高等学校総合体育大会 個人 100kg超級 出場  
関東ジュニア体重別大会 4階級出場(90kg級・100kg級 2位・100kg超級 3位)  
金鷲旗大会 団体 準優勝  
全日本ジュニア体重別大会 3階級出場  
全国選手権大会 団体 3位/個人 100kg超級 出場
- 少林寺拳法部 関東大会 団体 出場/個人 2名出場  
全国高等学校少林寺拳法大会 個人 1名出場  
関東選抜大会 団体 出場  
全国選抜大会 個人 1組出場
- 水泳部 全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季大会 2種目出場  
関東高校選手権大会 2種目出場  
全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季大会 2種目出場
- スキー部 関東大会 回転 5名出場・大回転 5名出場  
全国高等学校総合体育大会 回転 1名出場・大回転 1名出場  
国民体育大会 大回転 2名出場  
全国選抜大会 回転 1名出場・大回転 1名出場
- 卓球部 関東大会 団体 出場  
関東選抜大会 団体 出場
- 軟式野球部 南関東大会 2位
- バレーボール部 関東大会 出場
- ラグビー部 関東大会 出場  
全国大会 出場  
関東新人大会 優勝  
全国選抜大会 出場
- 陸上競技部 南関東大会 リレー2種目出場  
関東選抜新人大会 リレー2種目出場

2012年度 主な大会実績

中学・中等教育学校前期

- 書道部 学芸書道全国展 硯心会奨励賞 1名  
高円宮杯書道大展覧会 大会奨励賞 1名

高校・中等教育学校後期

- 囲碁部 関東地区高校選手権大会 団体 出場
- インターアクトクラブ ボランティア・スピリット・アワード  
関東第2ブロック コミュニティ賞
- 書道部 高野山競書大会 協会賞 1名  
高円宮杯書道大展覧会 大会奨励賞 2名
- 模擬国連部 全日本高校模擬国連大会 優秀賞

【その他の部活】写真部/天文部/化学部/電気工作部(高校・中等後期)/英会話部/軽音楽部(中学・中等前期)/アニメ研究会/文芸部/模擬国連部(中等後期)  
演劇部(高校・中等後期)/インターアクトクラブ(高校・中等)

## 芸術・文化に触れる

### 鵜川メモリアルホール

学園内の各校舎の要(かなめ)の位置にそびえ、銀色に輝く円錐を斜めに切り落としたような建物。これが学園創立25周年を記念して建造された学園のシンボル、鵜川メモリアルホールです。その斬新なデザインは、未来都市の建物を思わせます。入学式・卒業式など学園の公式行事のほか、音楽・演劇・映画・講演など国内外の一流の芸術・文化に、生徒がじかに接することができます。また、生徒の創造的活動の発表の場としても利用され、学園内の教育的・文化的活動の拠点となっています。



◎指揮：田部井剛／東京フィルハーモニー交響楽団

◎トム・プロジェクト「骨唄」



#### 2012年度 鵜川メモリアルホールでの主な鑑賞行事

- 音楽 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会(指揮：田部井剛)／新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会(指揮：クリスティアン・アルミンク)／ゴマラン・プラス・クインテット演奏会／ミラノ・クラシカ合奏団と森麻季演奏会／ハッピー・タンゴ・アワー／熱帯ジャズ楽団演奏会 ほか
- 演劇 劇団四季 ミュージカル「ガンバの大冒険」／トム・プロジェクト「骨唄」／オペラシアターこんにゃく座「ネズミの涙」／劇団わらび座 ミュージカル「アトム」／劇団芸優座「ペニスの商人」／東京芸術座「12人の怒れる男たち」 ほか
- 古典芸能 松竹大歌舞伎「歌舞伎の見方」「曾根崎心中」(出演：中村壱雀・中村壱太郎・中村寿治郎 ほか)／落語の会(出演：三遊亭小遊三・立川談笑・春風亭百栄 ほか)

### メモリアルアカデミウム

学園のバスロータリーの前に位置し、神殿風の地上2階、地下2階の建物がメモリアルアカデミウムです。ここでは定期的にさまざまな展覧会やイベント、シンポジウムなどが開催されています。また、館内には横浜地方裁判所にあった陪審法廷が移築復元され、文化財としての価値を高めています。



#### 2012年度 メモリアルアカデミウムでの主な催し物

- 写真展 「今森光彦写真展～昆虫たちへのまなざし～」(2012年4月21日～6月2日)
- 展覧会 「伝えておきたい戦争体験 わたしの八月十五日展」(2012年9月22日～10月20日)  
「小松崎茂展～子どもたちの夢を描き続けたアーティスト～」(2012年11月17日～12月15日)
- 生徒発表 「TOIN ART COLLECTION 2013 桐蔭生作品展」(2013年1月26日～2月16日)

## 社会への眼

### 海外研修

アメリカのプレップスクール(名門ハイスクール)であるアンドーヴァー校や、ニュージーランドの名門私立中高であるスコツ校、サミュエルマーズデン校との間に、生徒の相互派遣を実施しています。高校1～2年次(中等教育学校は4～5年次)に、これらの学校に短期(約5週間)または長期(約9か月間)で海外研修を行う制度があります。また、中学2年および中等2年次には、ニュージーランドでの約3週間のホームステイ研修制度があります。いずれも希望者を対象に校内で選考試験を行い、合格者は参加することができます。



### ボランティア活動

インターアクトクラブと生徒会を中心に、地域奉仕と国際理解を融合した活動を行っています。2012年度は、NGO団体と連携してタイ北部の少数民族が通う小学校への支援を実施し、文部科学省と日本赤十字社が後援するボランティア・スピリット・アワードで、コミュニティ賞を受賞しました。また、「あしなが募金」や「緑区民祭」の手伝いなど、地域に密着した活動にも積極的に参加しています。



### 「模擬国連部」全米模擬国連大会に出場

2012年11月、全日本高校模擬国連大会で優秀賞を受賞した中等教育学校模擬国連部の2名が、2013年にニューヨークの国連本部で開催される全米模擬国連大会に、日本代表として参加することになりました。同部の全米大会参加は2年ぶり4回目となります。模擬国連部は、学校で学んだ知識や語学力をもとに、視野を海外にも広げ、いかにして将来の自分の道を発見していけるか、互いに自分の可能性を探求しています。



# Events Calendar

イベントカレンダー

桐蔭学園では1年間を通じて「知性」「感性」「社会性」の3つを養う教育を実践しています。前期(4～9月)、後期(10～3月)の2期制で、それぞれ2回ずつ計4回の定期考査を実施。ほかに、生徒の潜在能力を開発するための講習・補習を組み込んでいます。

学園では、夏休み・冬休みを夏期研修期間・冬期研修期間と位置づけ、日常の学校生活の延長として指導を行っているのも特色です。学園祭(鵬翔祭)やウインターキャンプなどの行事は、生徒だけでなく保護者も参加するなど、行事を通して信頼関係を高めています。



4

April

- 新入生オリエンテーション
- 入学式
- 部活動紹介
- 交通安全教室
- 新入生歓迎会
- 避難訓練(中学・中等前期)



5

May

- 保護者授業参加(中学・中等前期)
- 避難訓練(高校・中等後期)
- 前期中間考査
- スポーツ競技会(高校・中等後期)

6

June

- スポーツ競技会(中学・中等前期)
- 校外宿泊研修(中学1・中等1)
- 第1回校内実力テスト

01 Events Close up

## スポーツ競技会



02 Events Close up

## 学園祭(鵬翔祭)



7

July

- テーブルマナー教室(高2・中等5)
- 夏期研修(夏休み)
- 夏期校内講習
- 奉仕作業(高1)

8

August

- クラブ合宿
- 夏期校外特別講習(指定者・希望者)
- 夏期校内講習
- 夏期研修課題確認テスト



9

September

- 前期中末考査
- 学園祭(鵬翔祭)

10

October

- 避難訓練(全校一斉)
- 生徒会役員改選
- 保護者授業参加(高校・中等後期)
- 学園体育祭(日産スタジアム)

11

November

- 第九の会(希望者)
- 第2回校内実力テスト

12

December

- 後期中間考査
- 学年末考査(高3・中等6)
- 合唱コンクール(中学1・2、中等1・2)
- 冬期校内講習
- 冬期研修(冬休み)



03 Events Close up

## 学園体育祭



04 Events Close up

## ウインターキャンプ



1

January

- ウィンターキャンプ
- 特別編成授業(高3・中等6)

2

February

- 統一到達度テスト
- 中3高校入試

3

March

- 学年末考査
- 合唱コンクール(中学3・中等3)
- 新高3講習
- 卒業式
- 春期研修(春休み)



一人ひとりの個性を輝かせている桐蔭生  
現在の学びや活動、将来の夢を語ってもらいました



## 01 Students' Voice



憧れの花園ラグビー場を  
目指して、部活動と  
勉強を両立しています。

中学3年  
吉田 新

桐蔭は文武両道で、部活動がさかんな学校です。僕は今ラグビー部で副キャプテンを務め、日々練習に励んでいます。夢は高校で全国高校ラグビー大会に出場し、高校生ラガーにとって憧れの舞台である花園ラグビー場に立つこと。週6日の練習と勉強を両立させるのは大変な時もありますが、大好きなラグビーをこの先も続けていくために、授業中は集中し、先生が教えてくれるすべてを、その場で吸収するように心がけています。

僕は部活動を通して、教室では学べない多くのものを得ることができました。同じ目標に向けて努力する仲間との絆、あきらめずにチャレンジしていく気持ちです。学校生活が、より充実するので、桐蔭に入学したら積極的に部活動に参加してほしいですね。

## 02 Students' Voice



国内外の一流の芸術に  
学校の中で触れられるのは  
桐蔭ならではの魅力です。

中等教育学校3年  
林 公哉

僕が桐蔭を目指すきっかけになったのは、小学生の時に桐蔭の学園祭を訪れて、展示の素晴らしさに感動したことです。そして桐蔭に入学してからは、僕自身も学園祭でさまざまな企画に取り組みしました。1年の時はミニカー製作などに挑戦、2年の時は表面張力の実験をテーマにしました。そのどちらも企画最優秀賞に選ばれたことが、すごくうれしかったです。

桐蔭の大きな魅力のひとつに、鶴川メモリアルホールでさまざまなジャンルの芸術を鑑賞できることがあります。映画や音楽会、演劇、古典芸能など、国内外の一流の芸術や文化に学校の中で直に接することができるのは、桐蔭だからこそ。10代の時にこうした世界に触れておくことは、みなさんの感性を豊かに育んでくれると思います。

## 03 Students' Voice



互いに切磋琢磨し合える  
仲間の存在が、  
自分をより高めてくれます。

高校2年(理数科内進生)  
南家 孝彦

桐蔭は、生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、しっかりとサポートしてくれる学校です。僕は将来医師になることを目指していますが、先生方はとても熱心な指導で、生徒の学ぶ意欲に全力で応えてくれます。また、ともに学ぶ仲間がそれぞれの目標に向かって一生懸命勉強に取り組んでいることも、大きな刺激になっています。これからもよい意味でのライバル意識をもち、切磋琢磨しながらお互いを高めていきたいですね。

勉強だけでなく、スポーツや芸術など多彩な学びができる環境が充実していることも、桐蔭の魅力です。部活動の種類は豊富で、鶴川メモリアルホールをはじめ設備も素晴らしいです。ぜひこの学校に入学して、自分のやりたいことを存分にやってほしいと思います。

## 04 Students' Voice



多彩な学校行事を通して  
自分の内面を  
成長させることができました。

中等教育学校6年  
小林 寛英

桐蔭には年間を通してさまざまな学校行事があります。イベントとして楽しめるのはもちろんですが、団体行動の意義を学び、自分の内面を成長させる貴重な機会でもあります。思い出深いのは、5年生の時にウィンターキャンプでリーダーを務めたことです。スキーや集団生活を楽しむと同時に、いかにみんなをまとめ、動かしていくかといったリーダーの役割を学びました。また、スポーツ競技会や体育祭では、仲間と力を合わせて一つのことをやりとげる達成感を味わい、協調性の大切さを知りました。

中学・高校時代は、価値観や人格の形成に関わる大切な時期。その期間を、桐蔭で多くの人と出会い、勉強や部活動に打ち込み、多様な経験をしながら過ごすことは、きっとみなさんの人生を豊かにしてくれるはずです。

## 05 Students' Voice



充実した学習環境の中で  
常に向上心をもって  
勉強することができます。

高校3年(普通科外進生)  
川名 悠太

桐蔭を志望したのは、この学校なら勉強に打ち込める環境が整っていると思ったからです。実際に入学してみると、期待以上に充実していて、とても満足しています。例えば能力別授業もその一つ。努力次第でレッスンのレベルが上下するため、より上を目指そうとする向上心がわいてきます。テストもひんぱんに行われるので、常に緊張感をもって授業に臨めます。授業は先生の説明を一方的に聞くのではなく、自分から積極的に発言すれば先生も応えてくれるので、とても面白いですね。

みなさんは今、中学・高校受験に向けて頑張っていると思います。大変な時もあるかもしれませんが、粘り強く努力を続けていけば、結果はついてくるはずです。桐蔭と一緒に学校生活を送れることを楽しみにしています。

## Schedule 時間割の例

- 週6日制で月～金は6校時、土は4校時まで授業です。
- 授業の1単位時間は50分です。
- 昼食は、食堂や売店を利用することもできます(45分間)。

中等教育学校1年

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1校時	代数	歴史I	英語R	生物	書道	幾何
2校時	生物	英語R	化学	保体	国語	音楽
3校時	保体	化学	保体	代数	化学	地理
4校時	国語	国語	英語OC	美術	英語R	LHR
昼休み						
5校時	英語WG	技家	幾何	地理	幾何	部活動
6校時	道徳	代数	国語	英語R	歴史I	
HR・清掃						
放課後	部活動	(HRテスト追試*)	部活動		部活動	

\*火曜日のHRで追試の対象となった場合です。

高校1年 理数科

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1校時	数学P	情報	世界史	化学基礎	英語I	数学Q
2校時	生物基礎	保体	生物基礎	英語I	数学P	現社
3校時	地理	物理基礎	数学P	現国	現社	古典
4校時	英語表現I①	数学Q	地理	英語表現I①	保体	LHR
昼休み						
5校時	古典	英語表現I②	古典	音楽	化学基礎	部活動
6校時	数学Q	現国	英語I	数学P	世界史	
7校時				物理基礎		
HR・清掃						
放課後	部活動	放課後講習	部活動		放課後講習	

\*高校理数科のみ木曜日に7校時があります。

高校3年 国理コース

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1校時	政経	化学	数学Q	古文	英語R	漢文
2校時	化学	漢文	数学P	英語R	現国	数学P
3校時	保体	数学P	現国	政経	英語W	物理
昼休み						
4校時	数学Q	保体	物理	化学	物理	放課後講習
5校時	古文	英語II	物理	保体	数学Q	
6校時	英語II	政経	英語W	数学P	化学	
HR・清掃						
放課後	放課後講習	放課後講習	放課後講習	放課後講習	放課後講習	

\*放課後講習は希望制です。

高校3年 国文コース

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1校時	生物	保体	英語W	古文	数学P	世界史
2校時	英語II	数学P	古文	地理	漢文	漢文
3校時	数学P	英語II	世界史	生物	地理	自習
昼休み						
4校時	保体	数学Q	地理	英語W	世界史	放課後講習
5校時	現国	地理	英語R	数学Q	現国	
6校時	世界史	生物	数学Q	保体	英語R	
HR・清掃						
放課後	放課後講習	放課後講習	放課後講習	放課後講習	放課後講習	

\*放課後講習は希望制です。

\*能力別の授業クラスをLRと呼びます。 \*HRはホームルームの略称です。 \*LHRはロングホームルームの略称です。 \*HR・清掃の時間は月曜から金曜は15:15、土曜日は12:40～

# Graduates' Message

卒業生からのメッセージ

桐蔭で育まれた未来を創る力  
それぞれのフィールドで活躍する卒業生に桐蔭時代と今を語ってもらいました



東京大学  
工学部3年  
矢野 亮太さん  
(高等学校 第45期生 理数科内進生)

## 大学に入って、改めて桐蔭の授業の質の高さを実感しています。

桐蔭の先生方は、単に教科書にそって授業をするのではなく、実践的な問題演習をたくさん行ってくれたり、教科書の範囲を超えた内容を教えてくれたりします。受験はもちろんですが、今大学で学んでいる物理や数学に高校時代に得た知識がそのまま生かせることも多く、桐蔭の授業の質の高さを改めて感じますね。将来は環境エネルギー関係の仕事をするのが夢。何か社会に貢献できたら、と考えています。

### 課外活動にも積極的に参加しよう

僕は最初から東大を目指していたわけではなく、決して勉強一筋だったわけでもありません。中学ではバレーボール部、高校ではソフトボール部に入っていました。テスト前は

勉強と部活動のやりくりが大変だったけれど、おかげで密度の濃い勉強を効率よく行うコツが身についた。生活にメリハリもつくし毎日が充実するので、ぜひ部活動に参加してほしいですね。

僕は生徒会活動にも関わっていました。活動の一つが野球部の応援の手伝い。同期の友達が野球部にいたので、大会のたびに応援に燃えました。高2の時、甲子園出場をかけた試合前にその友達と廊下ですれ違ったんです。「絶対甲子園に行けよ」と声をかけたら、「お前も勉強頑張れよ」って。今でも忘れられない思い出です。いろんな力をもった人がいて、それぞれがお互いを認め、応援合っている。そこも、桐蔭の素晴らしいところだと思います。



早稲田大学  
商学部4年  
米山 貴士さん  
(高等学校 第44期生 普通科外進生)

## 桐蔭が教えてくれたのは、「自分の努力で環境は変えられる」ということ。

桐蔭で学ぶことで特によかったと思っているのが、能力別授業です。校内テストの結果がふるわず、下のレッスンに落ちる悔しさも味わいましたが、その分自分から進んで頑張るという、よい意味での競争心が生まれました。精神的にも鍛えられ、環境は自分の努力で変えられることを身をもって学びました。グローバル化時代の今は個人の能力がより厳しく問われますが、そうした社会に対応していくための土台を築いてくれた気がします。

先生方も指導が熱心で、質問に丁寧に答えてくれるし、生徒一人ひとりの状況に合わせて課題を与えてくれるんです。桐蔭の授業だけで十分受験対策ができたので、予備校に行く必要はありませんでした。

### 多様な人との出会いで視野が広がる

桐蔭の先生方には今でも何かとお世話になっています。僕は国際経済に興味があり、留学や大学院進学を考えているのですが、こうした進路相談にも親身に応じてくれて、本当に感謝しています。

生徒も個性的な人が多くて楽しかったですね。内進生・外進生の関係なく本音でつきあえた。高3で男女併学になるのも環境が変わって新鮮でした。勉強仲間の一人が帰国子女の女子だったのですが、その率直な意見にすごく刺激を受けました。多様なバックグラウンドや考え方もつ人が混ざり合い、切磋琢磨していけるのは、生徒数の多い桐蔭ならではのメリット。いろんな人と出会い、視野を広げてほしいですね。



横浜市立大学  
生命医科学研究科 特任助教  
北里大学 理学部卒業  
横浜市立大学大学院  
博士課程(医学研究科)修了  
池谷 真澄さん  
(高等学校 第35期生 普通科内進生)

## 桐蔭の素晴らしい環境の中で過ごしたことは、自分の大きな自信になっています。

僕は神経生物学の研究者として、将来的に神経細胞の再生などにつながる基礎研究に取り組んでいます。この分野は、ポストiPS細胞研究との呼び声も高く、いま非常に注目されているんです。いつの日にか科学の歴史に名を刻み、桐蔭の後輩たちが僕の発見を教科書で知ってくれることになったら最高ですね。

社会に出た今、桐蔭時代を振り返ると、自分がどれほど恵まれた環境にいたのかがわかります。どの課程でも質の高い授業が受けられるし、多彩な学校行事もあるし、学校内で一流の芸術に触れることもできる。これは他校で

は得難い経験です。先生方も熱心で、放課後も遅くまで個別指導をしてくださいました。多くの生徒がいる中で、生徒一人ひとりと真剣に向き合う、あの情熱はすごいと思います。

桐蔭で6年間過ごしたことは、自分の大きな力になりました。そしてそれは、「自分はあるなにすごいところでやってきたんだ」という自信となり、自ずと「上に立つこと」を意識させられる気がします。実際、僕の同級生もリーダー的な立場で活躍している人が多いですね。ぜひ桐蔭で学び、次世代を担うリーダーになってほしいと思います。



日本オイルエンジニアリング株式会社  
施設技術部 プロセスエンジニア 勤務  
横浜国立大学 工学部卒業  
東京大学大学院  
修士課程(工学系研究科)修了  
酒井 裕人さん  
(高等学校 第36期生 理数科外進生)

## 桐蔭の環境をフルに活用し、アグレッシブに自分を高めてほしい。

桐蔭時代の思い出といえば白馬講習です。高1・2年の夏期研修期間に、12日間朝から晩まで英・数・国の勉強に取り組む合宿です。課題が終わらずに徹夜する人が続出するほどの厳しさで、今でもせっぱつまった時にあの経験を思い起こすと、「まだ頑張れる」と気が入ります。また、みんなで寝食を共にし、知恵を出し合って難問に取り組み、苦しい時を共有したことで、より絆が深まりました。この講習を機に「一生の友」となった人もいて、学力以上に大きなものを得られたと思います。

高2の時にはアメリカに1カ月留学。ライ

ティングやスピーチなど実践的な授業を受け、英語力が飛躍的に向上しました。現在は海外の原油処理プラントのコンサルティングをしています。日常的に英語を使う仕事なので、桐蔭で培った英語力がダイレクトに生きています。

桐蔭には学力を伸ばすチャンスがあふれています。僕はそれを積極的に活用し、大きく成長することができました。だから、桐蔭に入学したらアグレッシブに上を目指してほしいですね。それに応えるだけの環境が、桐蔭には用意されています。



日本銀行 名古屋支店 勤務  
東京大学 法学部卒業  
漆原 一起さん  
(中等教育学校 第1期生)

## 大学受験だけでなく、その先にある社会を見据えた教育を受けられました。

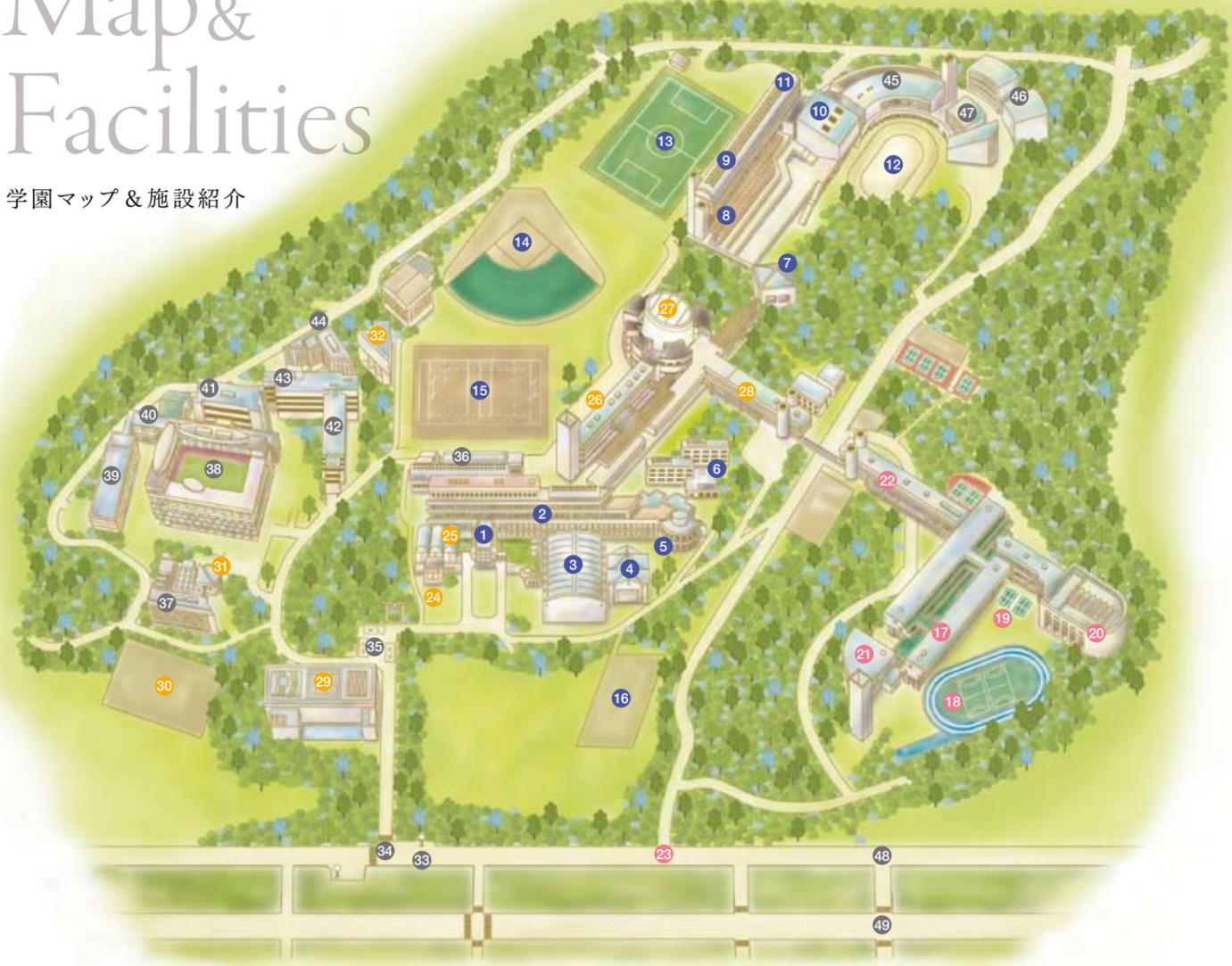
勤務先の日本銀行は、世の中の人々が健全に経済活動を行えるよう支援するのが仕事です。僕は社会の多様な事象を分析しつつ世の中に貢献したかったので、この道を選びました。

桐蔭の魅力は数多くありますが、一番に思い浮かぶのがウインターキャンプ。単なる学校行事の域を超えた非常に有意義なものでした。班はくじ引きで決まるため、気が合わない人と一緒になることもあります。そこで、互いにうまくやるにはどうすればいいのかを考えるのですが、これは社会に出て多様な価値観をもつ人と協働することにも重なるんです。

1年生の時にはキャンプリーダーを務めました。リーダーは先生が指名するので、いやでも上に立たねばなりません。そして、みんなの前で話し、率先して場の雰囲気を作り、団体行動を円滑に進めていく。求められる役割や責任は大きかったけれど、それをやりとげたことが一つの成功体験となり、自分の自信になりました。僕にとってウインターキャンプは、リーダーシップや組織マネジメント力を培い、社会に出る訓練をする場となりました。大学受験だけでなく、その先の社会を見据えた教育をしてくれた桐蔭に感謝しています。

# Map & Facilities

学園マップ & 施設紹介

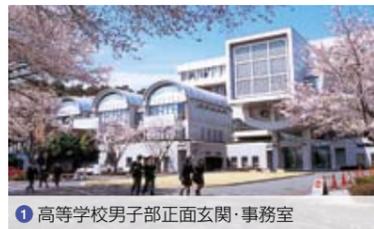


- ① 高等学校男子部正面玄関・事務室
  - ② 高等学校男子部・中等4、5年
  - ③ 総合体育館
  - ④ 武道館
  - ⑤ 高校男子部・中等後期食堂
  - ⑥ 尚友寮
  - ⑦ 中学男子部・中等前期食堂
  - ⑧ 中等教育学校(前期)
  - ⑨ 中学校男子部
  - ⑩ 体育館(小・中・中等)
  - ⑪ 中等前期・中学校・小学部・幼稚部事務室
  - ⑫ 第4グラウンド
  - ⑬ 第3グラウンド(サッカー場)
  - ⑭ 野球場
  - ⑮ 第2グラウンド(ラグビー場)
  - ⑯ 第7グラウンド
  - ⑰ 女子部(中・高)
  - ⑱ 第5グラウンド
  - ⑲ テニスコート
  - ⑳ 女子部体育館
  - ㉑ 女子部食堂
  - ㉒ 女子部事務室
  - ㉓ 桐蔭学園女子部入口交差点
  - ㉔ 売店
  - ㉕ 学園第2図書館
  - ㉖ 高3・中等6年(進学棟)
  - ㉗ 鶏川メモリアルホール
  - ㉘ 本部管理棟
  - ㉙ メモリアルアカデミウム
  - ㉚ 第6グラウンド
  - ㉛ 大学情報センター(学園第1図書館)
  - ㉜ 交流会館
  - ㉝ 桐蔭学園入口バス停
  - ㉞ 桐蔭学園入口交差点
  - ㉟ 桐蔭学園前バス停
  - ㊱ 体育館
  - ㊲ 技術開発センター
  - ㊳ 大学中央棟
  - ㊴ 大学W棟
  - ㊵ 大学N棟
  - ㊶ 大学食堂
  - ㊷ 法学部棟
  - ㊸ 先端医用工学センター
  - ㊹ 法科大学院
  - ㊺ 小学部
  - ㊻ 小学部第2校舎
  - ㊼ 幼稚部
  - ㊽ 中里学園入口交差点
  - ㊾ 鉄町交差点
- 男子エリア ●女子エリア ●共有エリア ●その他

※本校の施設はすべて新耐震構造になっております。

## 桐蔭学園沿革

年次	月	出来事
昭和	39年 3月	学校法人桐蔭学園設立
	39年 4月	高等学校第1期生入学
	41年 4月	中学校第1期生入学
	42年 4月	小学部第1期生入学
	44年 4月	幼稚部第1期生入園
	56年 4月	女子部(中・高)第1期生入学
	60年 3月	女子部(中・高)新校舎竣工
	61年 3月	幼稚部・小学部新校舎竣工
	61年 7月	中学校男子部新校舎竣工
	63年 4月	桐蔭横浜大学開校(工学部)
平成	63年 8月	高3進学棟竣工
	63年 8月	本部管理棟・鶏川メモリアルホール竣工
	5年 4月	桐蔭横浜大学法学部開設
	6年 6月	大学情報センター(学園第1図書館)竣工
	9年 3月	高校男子部新校舎竣工
	11年 3月	総合体育館竣工
	12年 1月	学園第2図書館竣工
	13年 4月	中等教育学校第1期生入学
	13年 5月	メモリアルアカデミウム竣工
	16年 4月	桐蔭横浜大学法科大学院開設
	16年 4月	交流会館竣工
	17年 4月	法科大学院校舎竣工
17年 4月	桐蔭横浜大学医用工学部開設	
20年 4月	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部開設	
20年 7月	小学部第2校舎竣工	
22年 3月	桐蔭横浜大学中央棟竣工	



① 高等学校男子部正面玄関・事務室



③ 総合体育館



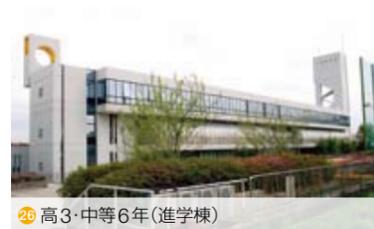
⑤ 高校男子部・中等後期食堂



⑧ ⑨ 中等教育学校(前期)／中学校男子部



⑬ 第3グラウンド(サッカー場)



㉖ 高3・中等6年(進学棟)



㉗ 鶏川メモリアルホール



㉙ メモリアルアカデミウム



㉜ 交流会館

## 寮生活

桐蔭学園は、家庭の事情で親元を離れて生活しなければならない生徒や、遠隔地から通学する生徒を受け入れるための男子寮「あおば寮」「尚友寮」を運営しています。秩序ある団体生活に必要な自主性と責任感、奉仕の精神を養い、規律ある日常生活によって自立心の強い生徒を育てています。



あおば寮

尚友寮

### 入寮資格

#### 1. 入寮を希望できる場合

入学を許可された生徒で、下記の項に該当する場合。

- ・海外もしくは通学不能の他都道府県に保護者が居住しているか、転勤する場合。
- ・遠隔地からの通学者である場合(片道2時間以上)。

#### 2. 入寮者の決定

入寮希望者に対する調査資料および入試成績をもとに入寮者を決定します。



プレハブ校舎での第1期生の授業(昭和39年)



高校の校舎建設が間に合わずテントで入学式、プレハブ校舎で授業が始まる(昭和39年)



小学部の授業風景(昭和42年)



初期の頃のスクールバス



第53回全国高等学校野球選手権大会、初出場で初優勝(昭和46年)



開校当時の小学部の運動会



昭和41年頃の学園全景

